

建築現場で活躍する ミカサインヘッダー

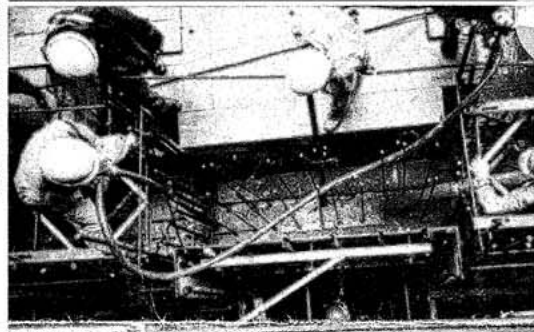
三笠ニュース

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222~4607
郵便番号 101 番
PR旬報 年4回発行

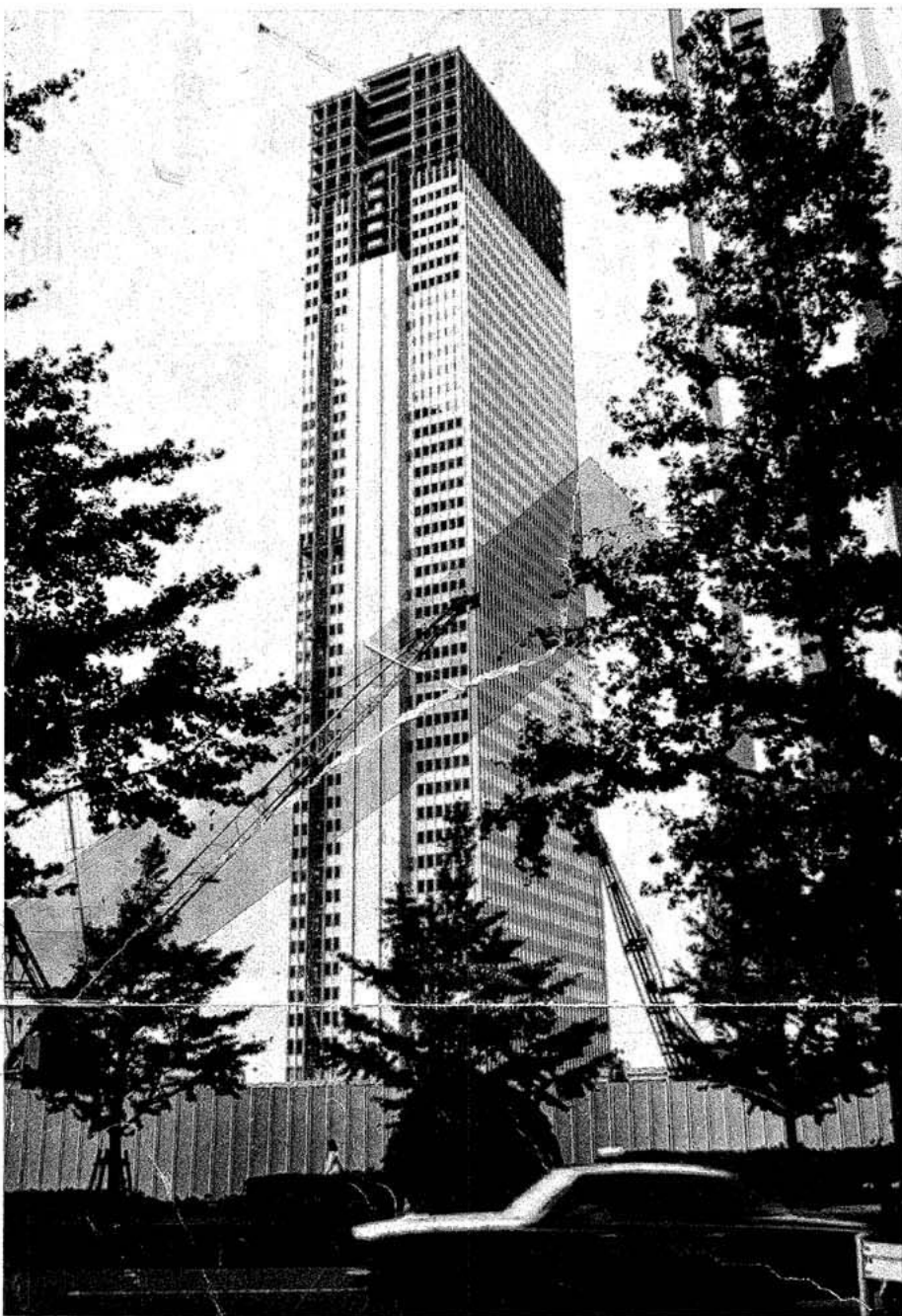
使い易さと 仕上りの良さに 注目される

首都圏および東京都内での建築現場のコンクリート工事で、近頃静かな変革が見受けられる。それは三笠サインヘッダー（インヘッダー）が本格的に使われるようになり、その扱いやすさを認められ、次々とその輪を拡げて作業能率の向上に、また高品位の仕上げに大きな役割を占めるようになったことである。

便利さを追求して止まないところに技術の進歩がある、外径約40mmのコンパクトなモーターと振動装置をドッキングさせて一つの筒状のケースに収めたというものは、一見なんでもないことのように見えるが、コンクリートパイプレーターの革新ともいえる新製品である。従来はモーターと振動筒の間をフレキシブルシャフトで接続して駆動していたものが直結されたので、フレキシブルシャフトの摩擦抵抗がなくなり、目方が軽くなったばかりではなく、キャブタイヤコードを伸ばせば電源から離れた場所での作業が可能となり、細かく配筋された足場の悪い現場を重いモーターを持って動きまわる苦勞から解放されることができたばかりでなく、深さのあるところから隅々まで充分にパイプレーターをかけることができるのは大きな利点である。東京都内でのサインヘッダー（インヘッダー）をお使いになった各現場では、使い易くて仕上がりがきれいだと異口同音の感想を聞いた。



40型を2本使って、野村ビルにて



（副都心新宿に聳える野村ビル、ここでもインヘッダーが使われた）

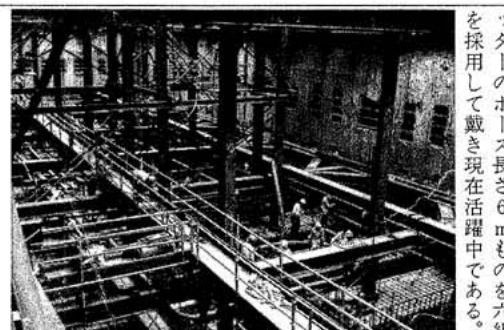
野村ビルの現場
東京の副都心として、また一つ新しい街を創り出す野村ビル。超高层ビルが完成しようとしている。野村不動産の新宿野村ビルである。地下五階、地上五十三階の当ビルは熊谷組さんの手でさまざまな近代設備が取り入れられ、初秋の空にそびえるビルは周囲の区画路や街路樹のまどりと調和し、偉風堂々として周囲を圧して、東京名物の一つになるに違いない。

このコンクリート打設工事を関東工務店さんが担当し、弊社の高周波パイプレーター（インヘッダー）を使用している。

納入の経過をふり返してみると、初めに昨年六月にF C 6型コンパクトと新50型インヘッダーを納入し、建築の基礎として最も重要な地下の部分のコンクリートの打設に入った。多い時は一日2000mも打設することになった。又鉄筋の間隔がギリギリで振動筒が引き抜けないときもあつたが、しかしこれはどんな深い間隔にもまんべんなくコンクリートが浸透している証左ともなる。九月より地上階のコンクリート打設にかかり、今度は40型インヘッダーを使用した。40型は50型より細いので、より鉄筋の間隔が狭くても有効なコンクリート打設が出来るのである。工事は十階二十階と順調に進んだ。何といってもインヘッダーは軽

中央のコンパターからコードを延ばしての作業・日本テレビ放送網現場

この現場では今まで錐振型のパイプレーターを使用していたが、建築現場の、鉄筋が細かく配置されており、移動が大変であり、多少の不便を感じていたとのことであった。そこで実際に現物を持ち込んで、使用して戴いた。コンパターを中央部に設置し、インヘッダーについている10mのコードに、更に30mのキャブタイヤコードを継いで、打設してみた所、インヘッダーの重量そのものも軽く、作業範囲も広く行



日本テレビ放送網南本館現場

コンクリート打設に於いても工事の大型化に伴い、打設量の増加、作業の効率化、作業上の安全の徹底等の要求が大きくなり、モーターインヘッダーパイプレーター（インヘッダー）使用の現場が急速に増えつつある。

五月に日本テレビ南本館新築工事共同企業体工事事務所の現場（東京都千代田区）へF C 6型コンパクト、一台と、これに新50型インヘッダーのホース長さ6mものを六組を採用して戴き現在活躍中である。

くってキャブタイヤコードが50mも延ばせるので、従来のフレキシブルパイプレーターのようにモーターをいちいち持ち運ぶ手間もなく、又安全ボルト（48V）なので作業者が楽に使用出来るし、きれいで強度の高いコンクリートに仕上るといふ大変大きな利点がある。

ただ40型が50型と比べて振動が弱いのは当然かも知れないが、建築現場としては振動筒の径が小さく、振動が強いインヘッダーを開発してほしいとの要望もあつた。

私としてもこの新宿野村ビルの現場を訪ねる度にいろいろと勉強になり、電車の窓から新宿野村ビルを見るときはインヘッダーによって少しでもこの超高层ビルの完成に寄与出来たことを誇りに思っている。

都内課 榎本 記

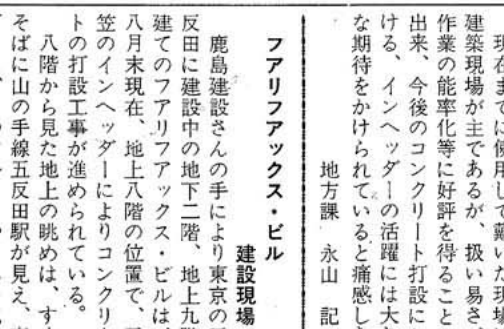
フリアックス・ビル 建設現場

鹿島建設さんの手により東京の五反田に建設中の地下二階、地上九階建てのフリアックス・ビルは、八月末現在、地上八階の位置で、三笠のインヘッダーによりコンクリートの打設工事が進められている。

八階から見た地上の眺めは、すぐそばに山の手線五反田駅が見え、真下には、このビルによって車の流れを二つに割ったように中原街道と第2京浜国道に分かれて神奈川方面へ伸びている。

このビルは面積が9000㎡、延面積9500㎡で、一回のコンクリート打設量は、約5000㎡、全体で6500㎡との事だ。

此処では三笠のF C 6型コンパクト、新50型インヘッダー二本が使用されており、コンパターのみがコンクリートを打設している場所よりも一階下のフロアに設置され、各インヘッダーには中央の吹き抜け

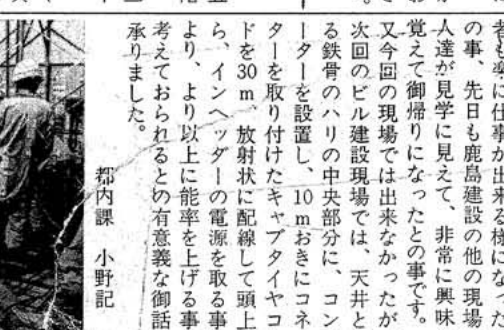


日本テレビ現場の作業者の話でも一日あたり800から1000mのコンクリートでも、実際に使用するインヘッダーは三組で充分間に合うとのことであり、作業員のつかれも少なくよければ、これを使用するメリットは充分にあることであつた。

又最近更に各現場に於ける保安対策の徹底に伴いインヘッダーに使用される電圧が48Vという低電圧で作業出来るのも安全性の上から大いに期待をもたれた。

現在までに使用して戴いた現場は建築現場が主であるが、扱い易さ、作業の効率化等に好評を得ることが出来、今後のコンクリート打設における、インヘッダーの活躍には大きな期待をかけられていると痛感した。

地方課 永山 記



ポンプ車から圧送されたコンクリートが力強く、ホースより吐出し始めると、監督の適切な指示により振動筒を持つ作業員とスイッチ操作者を持つ作業員により二人一組で操作されるというインヘッダーが二本、獲物を待ち構えていた大蛇の敏捷さにも似て、見る見るうちにコンクリートの堆積を均らしていった。インヘッダーについての御意見を浜野工務主任さんに御伺いした所、軽くて安全で、手元に振動が来ないので、作業も楽に仕事出来る様になったとの事、先日鹿島建設の他の現場の人達が見学に来て、非常に興味を覚えて御褒めになったとの事だ。

又今回の現場では出来なかったが、今回のビル建設現場では、天井となる鉄骨のハリの中央部分に、コンパターを設置し、10mおきにコンパターを取り付けたキャブタイヤコードを30m、放射状に配線して頭上から、インヘッダーの電源を取る事により、より以上に能率を上げる事を考えておられるとの有意義な御話を承りました。

都内課 小野 記



（50型インヘッダーでの作業・日本テレビ放送網現場）

ポールハンマー作業現場訪問記

青森市郊外にて

打込ガイドを使って

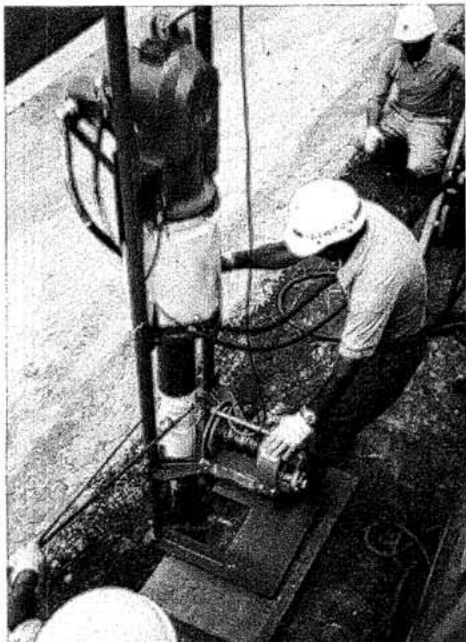


(浜田専用道路のポール打込現場)

長さ2.5mのポールが15本打込まれ、ガードレールの取付も終わっている。今後は余すところ片方700mの工事区間が待っている。東北地方も漸く夏を迎えた。七月二十五日我々は三笠ニューズ第58号で発表したポールハンマーの打込ガイドを使ってのガードレール取付工事の実際を見学した。

打込ガイドに取付けられたポールハンマーを吊り下げた4tトラックのクレーン車は、静かにポールを打込

青森市から「あすなろ団地」が行われる県道スポーツセンターへ通じる浜田道路が五十年着工以来今年で二年工事が続けられている。この道路の青森側より3kmの地点が立体交差になっているが、この場所の両側にガードレールを取付ける工事を和田工業所さん(青森市大野山下、社長和田敏光氏)がやっている。こちらには七月に油圧式のMOP12型ポールハンマーを前田産業さん(青森市中央四丁目)から納入してあり、これを使って既に立体交差点の片側700mに亘って4m間隔で太さ114.3mmのポールを打込を開始する。114.3mmのポ

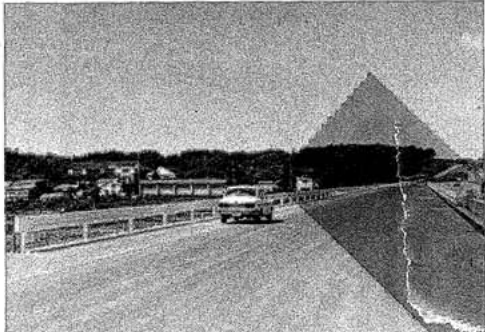


(ガイドを使って打込作業)

モーターインヘッドパイブレーター

モーターの保護装置 インヘッダー・プロテクター完成

(見事に完成したガードレール)



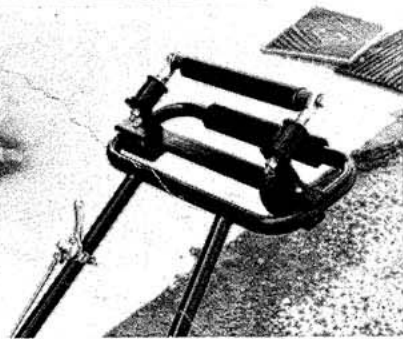
ルを所定の1.5mの深さまで打込み終るまで僅か2〜3分、かなりの速度で作業ができる。一時間当りの打込み数量は目下のところ9本だが、熟練すればもっとも能力をあげることはできると思われる。とにかく現在の作業量だけでもチームで押込んでいた作業方法よりも能率も上り、ポールのキャブに傷も付かないばかりか塗装もはげないで済んだ。ポールの傾きもなく、垂直に打込むことができるので、ガードレールを取付ける際も修正の手間がほとんどなく手際よく仕上げることもできるので充分に採算のとれる新鋭機である。仙台出張所 青木報

国内および海外での各作業現場で大変好評を頂いているモーターインヘッダーパイブレーター(インヘッダー)および高周波型自振モーターに過電流が流れて焼損するのを防止するモーター保護装置インヘッダー・プロテクターができました。これは従来ご使用中のインヘッダーにそのまま接続してお使いになれます。使用方法はコンバーター(周波数変換機)の出力コネクタにインヘッダーパイブレーターの出力コネクタを接続し、プロテクターの出力コネクタにはインヘッダーのコネクタを接続します。つまりコンバーターとインヘッダーとを繋ぐケーブルとインヘッダーの中間にインヘッダー・プロテクターを取付けたことになります。主電源のメインスイッチを入れてからコンバーターのスイッチをONにして、ついでインヘッダー・プロテクターの押ボタンスイッチを押すと表示ランプが点灯します。

これから先の操作は普通通りのインヘッダーの使い方と同じです。若しこの時に表示ランプが点灯しなかったり、点灯してもすぐに消えるような時はケーブルが断線したか、断線またはヒューズの溶断を示しています。また運転中にインヘッダー・プロテクターが働いて、インヘッダーが動かなくなったり、場合によってはインヘッダーの修理を要する原因を調査し、断線等の欠陥を、切れているヒューズは交換した後に再び押ボタンスイッチを押すと運転を再開します。このインヘッダー・プロテクターの動作はコンバーターの出力側の三相のうち、いずれか一相が欠陥となった場合に、全回路を遮断し運転を停止させてインヘッダーのモーターを保護し、更にモーターの過負荷またはロック等の場合にはヒューズが切れて欠陥状態となった運転を停止させます。欠陥の原因としてはケーブルの断線、コンバーターの出力コネクタの接続の不具合、インヘッダーの手許スイッチの故障、等が考えられるのでこれらを点検して異常の有無をたしかめます。インヘッダーのモーターのリアシールド、またはベアリング焼付等によりモーターがロックした場合は、過電流が流れてモーターが焼損するのを防ぐために、ヒューズを溶断して運転を停止させるようになっていますので、ヒューズを交換しても再び

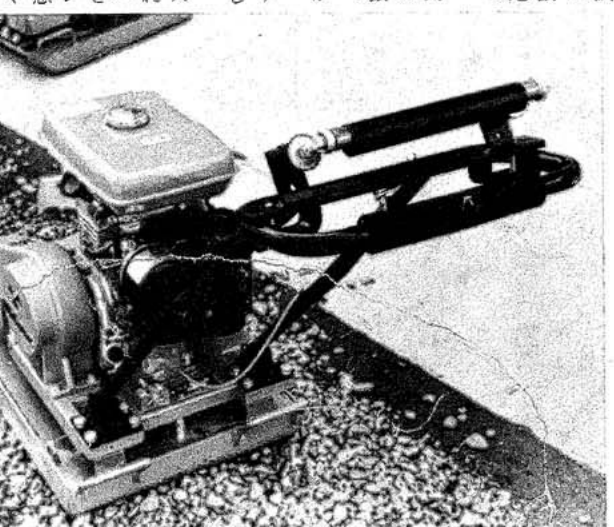
振動を忘れて快適な作業 防振ハンドル、コンパクターとローラー

防振ハンドル、コンパクターとローラー



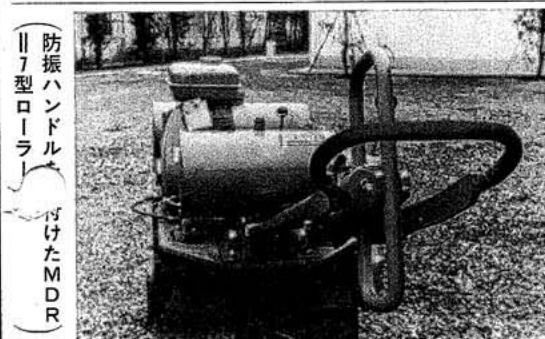
高いサイクルの振動を発生させて路面の締固め、またはアスファルト舗装の仕上げに使われているブレイトコンパクターや振動ローラー、そのコンパクターや振動ローラーの製造に欠くことのできない電直型パイブレーター等の振圧機と振動機の補助装置が揃ったのでこれらを点検して異常の有無をたしかめます。

振動ハンドルを試しに握って、スロットルを入れ振動の先端を地面に強く押しつけて見る。防振ゴムで振動が吸収されるのか、あるいは振動が抜けるのか、手許への反動が感じられない。いささか物足りない思いがしました。



(MVC110F型ブレイトコンパクターに取付けられた防振ハンドル)

(ブレイトコンパクター用の防振ハンドル) 置として、防振ゴムを巧みに配置して、作業者の手許への振動を全く除いた防振ハンドルがこの程度登場しました。振動と防振、相反する目的を満足させるのはむずかしいことです。ブレイトタイプでも言えそうな形をしている28型電直パイブレーターの防振ハンドルは、



(防振ハンドルに付けたMDR117型ローラー)



(電直用防振ハンドル)

もともと振動筒には強力な振動を発生させ、この振動は振動筒とモーターとの間に施された防振装置でとら作業するものではこの防振ハンドルを取付けて使えば、より一層快適な作業が約束できると思われ。この防振ハンドルは現在お使い頂いている機械に取付けることができ、オプションとして十一月頃より製品に装着して出荷できる予定です。



アンデスの国々

(ペルー・エクアドル・ボリビア)

その2

前回の三笠ニュース(第58号)に南米出張で経験したことをそのまま書きましたが、まだまだ書き度い事がいっぱいあり、一度に書くことができませんので次の機会にまた書いてみたいと思っています。また、再び南米出張を命ぜられ八月十六日午前十時発の日航機で東京をあとに太平洋を飛び越えて南米へ向けて立ちました。

平原の町サンタクルス

世界一高いラパス空港(海拔四一〇〇メートル)から国内線で約一時間五十分、サンタクルス空港に到着した。サンタクルスはラパスの赤土色の町と違って緑が多く、何から何までまったく趣を異にする町である。

ピライ川の支流で水遊びをする人々、本流は林の向う側

この地方では自然に逆らわず、水の流れるままになつてゐた。そのため大雨が降った時などには勝手な方向に流れ、濁流が通った後には何も残っていない。サンタクルスの町の中を走っている車のほとんどが、ピライ川の何百・何千回にわたる氾濫によって町の周辺に砂地がたたくさん出来て普通の車では走れないのである。私は最初にこの砂地を見た時、海拔六〇〇メートルの平原が何故砂地なのか不思議に思ふた。

北風と南風

我々の住む北半球と南半球とは季節が逆になる。またここでは南風が北半球の寒い北風に相当する。私がサンタクルスを訪れた時は丁度、乾期で日本とは反対に冬であった。冬とは言っても赤道に近いサンタクルスでは、日本の夏とほとんど同じ気候で、半袖で過ごす事が出来る。このように過ごしやすい時は、VIENTO NOROCCIDENTAL(北風)が吹いている時で、湿度も低く、一番過ごしやすい季節と思われた。しかし、VIENTO SUR(南風)が吹くときはじめると、気候は一変して寒くなり、人々はジャンパーやセーターを着込むようになる。私はサンタクルスに四日間滞在し、前半の二日間は北風が吹いていて、過ごしやすかったが、後の二日間は南風が吹き、激しい雨が一日中降り続いていた。この雨がやむと寒さが一段と厳しくなり、一週間ぐらい続くこの事であった。

ホテルと昼寝

サンタクルスは日本と言う避暑地で、ホテルの敷地内には一戸建ての家とホテルがあり、美しい鵜鴎が放



はなっている。ホテルのお客は、スナックで食事をしてゐる。テラスの下にきて餌をねだるが、テラスの上には絶対に上がらず、ホテルのマスケット銃に上っている。サンタクルスのホテルは、家族連れでラパスなどから週末に遊びに来る人達が多いのである。南米では昼寝をする習慣がある。サンタクルスでも十二時から二時まで昼休みで、人々は家に帰って昼食をとり、一休みしてから仕事を始める。日本では一寸考えられない光景である。私は、昼寝をするという習慣がないので、昼休みはホテルのプールで一泳ぎしてゐた。北風が吹いている時のサンタクルスは楽園と言へよう。

モンテロー

サンタクルスから車で約六〇キロメートル走ると、農業労働者の町モンテローがある。この町を中心として農業地帯が東西南北に、三〇から五〇キロメートルの範囲に広がっている。日本からの移民の多い土地である。サンタクルス、この町から約四〇キロメートルの所にある。サンタクルスからモンテローへ行く道路は行けども行けども真直ぐで、廻りは平原がどこまでもどこまでも続いている。日本では見ることが出来ない、大にびくびくした。また、モンテローへ行く道すがら、キューバのチェ・ゲバラを模したボリビア最強のレンジャー部隊の基地があった。このレンジャー部隊の隊員たちはジャングルの中で、一ヶ月間捕給なしで一人で生活する事が出来る。この事であった。

避暑地プリアス

グアヤキルの約九〇キロメートルの所に避暑地プリアスがある。私が訪れた八月のプリアスは、シズンオフであり、閑散としていた。私たちが昼食をとったホテルHUMBOLET(フンボルト)の建物は赤と白に塗り分けられていたが、けっして派手な色には見えず、ごく自然に周囲と調和していた。南米では、何故、原色がこれほどまでにマッチするのだろうか。

アンデスの気候

私が訪れたアンデスの国々は、日本との時差が約十二時間から十四時間あり、昼と夜が反対で、季節もまるっきり逆である。私はいつべんに夏と冬を過ごした事になる。これらの国々の四季は、大きく分けて雨期と乾期に分けられ、雨期は夏、乾期は冬である。グアヤキル・サンタクルスなどでは、夏になると雨が非常に多く、高温多湿であるが、冬は雨も少なく、湿度も低くなるために非常に過ごしやすくなる。

また、雨が多い所では、建物から

の庇が長く出ており、雨が降っても濡れずに歩けるように出来てゐる。



(サンタクルスの道路建設現場で見たMTT)

逆、リマなどは、夏といつても雨は全く降らず、冬にフンボルト海流の影響により、霧雨があるくらいであるから、リマの建物の屋根は非常に簡単に作られてゐる。私はリマから飛行機で約二時間から三時間ぐらいの異なった国々で、世界のさまざまな気候を体験(サンタクルスの道路建設現場で見たMTT)する事が出来た。これもアンデスの国々ならではのものではなかろうか。

羽田からニューヨークまでは、日

航、そこまでは日本語だけで十分である。ニューヨークからリマまではフルトハンザドイツ航空、ここからは日本語は全くだめで、機内のアナウンスはドイツ語・英語・スペイン語である。三月に前回の出張でニューヨークからフルトハンザに乗った時は、パンフレットに日本語は見られなかったが、今回はパンフレットに日本語が書かれていた。これは、南米に行く日本人のためにではないか。

(ラパス空港にてT社の佐久間氏

(左と筆者、後ろはイリマニ山) 輸出課 金子記

北欧の展示会に参加して

スウェーデンにて

年に一度開催されるスウェーデンの建機展はENTEX PO77と呼ばれ、もととも五月に催される予定であったが、夏休み明けの九月初旬に開かれた。この展示会が行われたヨシノビという都市はスウェーデンの三大都市、首都のストックホルム、二番目に大きい Göteborg、第三の都市マルメの各々から三百五十キロメートル程の所にあり、おおよそこの中心に位置している。そして大きい街ではないが、スウェーデンで二番目に大きい湖に面して居り、夏はリゾートタウンとして活気を見せるという。シーズンを終えようとしている湖畔の静かな場所には無数のヨットが静かにマストをゆらしている。茫洋たる湖面から目を湖畔に移せば、赤レンガや落ちついた色調の、屋根の急斜な石造りの建物が道路に沿って並び、北欧の静かな魅力が力強い印象を与える。展示会場はこの湖の一角、街の外れにある小高い丘の上にあった。場所をエルミアと云い毎回同じ場所で開催されるのでELMIASHOWと云うのだそう。東京の晴海展のようなものである。広大な敷地は一面芝生で覆われて居り、オレンジ色の三笠の機械は緑の芝に映えて一際目立つコントラストを得ていた。隣に立つコンクリート製の大型建設機械の群に占領された丘も、中に入るとゆつたりとした芝生の散歩道といった感じになっていた。日本の建設展のほこりっぽさに比べたら正に雲泥の差である。



(三笠の展示小間の全景)

展示品はヨーロッパ各地を主として約三百社、ドイツのハノーバーメッセと比べれば、田舎の展示会といわれるが、アトラススコやボク、ボルボ、アトラススコやボク、建設機械の分野に於いても国産品と輸入品との激しい競争が想像される。最近スウェーデンはこの競争に負けそうになったのか、輸出の不振から10%ものクロネ切下げが行われ、国内のメーカーには大きなバックアップであるが、いきなり価格が一割も上がる輸入品には痛手である。スウェーデンの田舎町には云々各々から集っている展示会だけに同様の機械にも種々な型があり国際色豊かであるが展示会が華やかであればある程その裏にある厳しい競争に加わって行く事がいかに難事であるかを知らされる。九月の初めというのに既に朝夕は震える程涼しい。日本なら十一月の気候だ。下、日中の日差しは暖かく、機械のデモンストレーションもまた楽しからずやというところではある。それぞれ小間には大方の所がキャビン・トレーラー・カーを引っぱってきて事務所として使用して居る。プロパンガスのガスレンジに冷蔵庫、戸棚に流し台に洗面所と一通り揃って居る。暖房は暖房と雨の降る日など暖房を入れ、コーヒーを飲むのが快適な雰囲気である。デモとお客の応待に疲れたと暇を見つけて交替で芝生に置いたテーブルでお茶にする。暖かいコーヒーと、とびきり長いソーセージのホットドックをかきまわし、セールのスマンの連中とよまが話に花が咲く。それも東の隅、お客が見えたと応援に、デモにと飛んで行かねばならない。せわしないがここのホットドックのうまさは忘れがたい。なんの変哲もないホットドックだが、さわやかな青空、キャンピングカーの前の緑豊かな芝生に置かれた手造り風の椅子とテーブル、しばし仕事中というのを忘れさせる。休みの日のデモで減ったお腹、このように場所と条件が揃えばなんでもうまいに決まっている。オカカやタラコやうめばし入りのおにぎりならもっと歓迎だが、スウェーデンの田舎町では絶望的である。

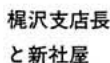
セールのスマン連中と気楽に話が出来た。彼等は三笠の機械にはよく知っていて、代理店として誇りと自信を持っている。彼等の親しみある語りかけから感じられるという所もあるが、彼等と話す言葉が互いにとって外国語というの良かった。上手下手はあるが何れも習った言葉なのでハンデキャップは大きい。日本では喋る機会が少ないので、と学のなさを誤



(三笠代理店のマネージャーと筆者)

北海道内に於ける三笠の有力代理店である中道機械株式会社（本社札幌 中道昌喜社長）では、先の北見・帯広・函館に続いてこの度釧路支店と室蘭営業所を新築落成されました。

この事で新築落成とおめでたが重なって大変喜ばしい事でありまして、一口に二〇年と申しますが、これは大変長い歴史であります。これもまた中道社長の堅実なる経営方針と社員の方々の汗と努力の結晶であります。我々メーカーとしては非常に心



となつて大変喜ばしい事であります。一口に二〇年と申しますが、これは大変輝かしい歴史であります。これも中道社長の堅実なる経営方針と社員の方々の汗と努力の結晶でありまして、我々メーカーとしては非常に心強く、ご期待申し上げると共に、出来る限りのご協力を惜しまないものであります。剛気である梶沢支店長の統率のもとに今後益々のご活躍と尚一層の繁栄をお祈り申し上げます。

されているため、訪問客は落着いた雰囲気の中かで商談ができる。敷地内には駐車場や常設の展示場があり、三笠製品及び省力機械を数多く展示しており、訪問客にはすぐ目に付くようにしている。このように新社屋の落成は機械の中道さんのイメージをまた大きく伸ばしています。最後に中道機械さんの今後のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

札幌出張所 神田記

本社会議室にて八月十八日(木)
当社のタンピングランマー・ブレ
コンパクターをはじめ主力製品
原動機、ロビン・エンジンの講習

が八月十八日(木)午後五時より本社
議室で営業・整備・技研・工場の
現場の社員四十三名を集めて行わ
れた。この日の講師は富士重工(株)産
品の海老原課長はじめ三名の方に
お願いした。

田川産業(株)(本社浜松市和合町三一五)の展示即売会が去る八月二十七日・二十八日の両日、真夏の大展示会のキャッチフレーズで一流メーカー多数が参加して盛大に行なわれました。

八月上旬以来降り続いた記録的
雨もやっと一息ついた八月二十
、終業後の午後五時三〇分から
月と八月の両月に生れた本社お

技術研究所の社員の誕生会の
 イーが、本社会議室にしつら
 た会場で賑々しく開催されまし
 我が社では毎月二十五日に、そ
 の誕生者に記念品とバースデー

三笠産業では毎年七・八月の二カ月間、社員およびその家族の憩いの場として各所で保養所を開設しておりますが、今年はその地を群馬県の上水温泉郷に求め、同地区の綱子民宿村にある「晴山荘」（内山徳仁さん経営）を三笠産業・山の家としてオープンしました。

山の家は水上の温泉街から五・六キロ奥に入った所で目の前には奥利根国祭スキー場があります。また山家から少し足をのびせば、藤原湖・た湖、奥利根湖等の貯水池があり

弊社のオーストラリアに於ける代理店コーツ社の元社長で、三笠製品の販売普及に貢献されたC・Wコープ氏より弊社京谷社長宛の手紙が届きました。同地の近況が窺い知ることのできるその一部をここにお伝えいたします。

います。
そしてこれは鉄鉱石、ウランウム、石灰等の分野でも同様の問題であるように思われます。

両国は非常に強い見解を持ち、オーストラリアは貴国の自動車、繊維、そして他の製品の輸出業者にとつて更に難関となります。これらによって更に



京谷社長 殿

一九七七年

SHINJITSU
TOM

最近私はコーツ社を訪ね、初めて輸入した三笠の新製品MVC-110Fを見ました。またクイーンズランドの旅行先でも三笠の新製品を見るのができて、大変嬉しく思いました。終りにあたり私は貴殿、奥様、社員の方々の御健康をお祈り申し上げます。どうかあまりのハードワーク

私はマイカーのボルボを駆って400 km の全行程をドライブしました。そして妻と私は大自然のなかに遊ぶ動物や鳥、そしてまた羊の毛の刈込み時期だったので非常に沢山の群を見たり、また子羊の生れるところに出合ったりしました。

……あらゆる事が平和で楽しい光景でした。

私は若しこの田園風景のように世界中が平和であつたならば、また人類が自然のように賢明に自らの事柄を処理していたならば、この世はもっとしあわせになつていだろうと思います。

景気が上向いてくる様子も感ぜられないオーストラリアですが、日本が早く不況から抜け出しことを願っています。昨日国豪予算が議会に提出されました、しかし誰か明るい面を見ようとしてもしないのか、或いはより建設的な動きを示そうとするものもないかのように、それはただ批判を作り出しているかのように見える政治の一面でした。

新聞は日本とオーストラリアの砂糖の長期価格契約で生じた多くの問題のニュースをのせて

(刈り込み待つ羊の群)

でお疲れ過ぎないようになさってください、貴殿は優秀な重役の方々を補佐に選ばれていると思ひますので……………!!

御子息にまた吉田常務、高野課長にどうぞ宜敷くお伝えください。

KOUNO
INORIMASU !